

## 令和4年度 地域活性化人材育成事業～SPARC～審査結果

地域活性化人材育成事業～SPARC～委員会における審査の結果、貴大学から申請のありました下記事業計画が採択されました。

大学名	宮崎大学	整理番号	6	タイプ	②
事業計画名	新しい価値を創造し持続可能な地域づくりを牽引する『多様な未来共創人材』の育成プログラム				

### (採択後公表)

#### [採択理由]

本事業計画は、大学が地域活性化を支える多様な人材を育成するため、地域社会と大学間の連携を通じて既存の教育プログラムを再構築し、宮崎県内の産学金労官の総力で組織した地域連携プラットフォーム「産業人財育成プラットフォーム」を活用するとともに、国立大学1校、私立の四年制大学2校及び短期大学1校の有機的な協働等により地域に根差した魅力的な学びの実現と教育内容の充実を図るものである。宮崎県の地域活性化を支える人材を未来共創人材と位置づけ、その人材像と身に付けるべき未来共創力を明確にした上で、宮崎県の強みを生かした農林水産業・フードビジネスを支える人材、地域産業を強化するためのDX・グローバル人材等、将来の地域社会を支える多様な人材育成を目的とし、基礎教育への未来共創科目の設置や多様な9つの人材育成プログラムの構築は、これまでにない先進的なモデルであり高く評価できる。

また、大学等連携推進法人を設立するため、具体的な計画が練られており、地域および全国へのモデルとしての波及効果が見込まれる。特に各大学の強みを相互に共有し合うため、各大学の専門分野の特色を活かした連携開設科目の設置、各大学の持ち味を活かした人材像の設定、大学等連携推進法人内の大学への編入による短期大学での2年間の学びの継続といった工夫がなされており、さらに、人材輩出・教育提供と資金の循環といった「資金循環サイクル」も想定しており、補助期間終了後も継続的かつ発展的に取組の実施が十分に見込めるものとなっている。

本教育プログラムにおいては、「STEAM・文理融合・分野横断」を基本に基礎教育を改革し、各専門教育においても「分野横断・未来共創力・地域との繋がり」を取り入れた個性的な教育の実施といった明確な学修目標が設定されており、取組要件にある円滑な高大接続を念頭に、文理横断型教育を基盤とした教育プログラムとなっている。

以上のことから、本事業計画は「地域社会と大学間の連携を通じて既存の教育プログラムを再構築し、地域を牽引する人材の育成」という今回の事業趣旨に沿った他地域への波及も期待できる優れた提案となっていると判断できる。